（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスささえ

公表日 2025年1月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・個別ではなく集団としての活動がメインである。	・設置基準としては満たしている。年齢層も高く、室内のスペースをうまく活用していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	5	・個々として関わっている時があるので全体を見る必要がある(自分を含め) 送迎時にスタッフが少ない時がある。 ・職員の数が少ない曜日もある。 ・ぎりぎりだと思います。スタッフの方が大変そうにみえる。	・設置基準は満たしているが、安全面での人員が不足している。 ・スタッフ確保を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・壁面が掲示物でいっぱいでないところはいいと思います。手形の掲示物は何かに使用しているのでしょうか。過去の遺物でしたら撤去してもいいと思います。 ・全体が見渡せる。ボードに何時に行うかの時計マークがあるなど。ただし、肢体不自由者はトイレの段差があるため昇降が難しいと思う。(肢体不自由者は今いない) 活動の場面など、環境設定をしながら取り組んでいる。	・不必要な掲示は刺激になるので構造化の一環として行っていません。 ・今後も不要な物は撤去し、環境設定を行っていく。 ・受け入れの体制として肢体不自由児の受け入れを想定していない。今後の受け入れも検討し、設備については検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	・自分を含め、美化に努める。 ・当たり前ではあるが終了後の清掃、消毒をしている 活動に合わせた空間になっていない場面もある。 ・少しづつ古くなっている部分もあるので新しくなるといいなと思う場所もある。 ・マットは交換してもよいと思います。	・開所当初よりある物品については古くなっているものをいくつか見られる。 ・交換等、より快適に過ごせるよう配慮したい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・相談室が時により、カームダウンエリアになったりする。	・相談室や事務室を活用し、個別に対応が必要な場面で活用している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	・勤務が少ないのでもっと自分から進んで聞く必要がある。	・個人の目標設定も行い、今後の支援力向上に活かして行く必要があると感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・活動内容の見直しやその他マニュアルの見直し。	・今後も支援力、質の向上を行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・相談しやすい風潮である。 ・会議や個別で相談も受けている。	・今後も様々な立場のスタッフの意見を把握し、業務改善に努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		・第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・研修が昨年より多いと思う。勤務が多くなるため、実研修に参加したいと思う。 ・社内研修やオンライン研修を時々行なっている。 ・外部の研修参加や施設内研修を実施。常勤、非常勤も参加する機会を設けている。	・研修を受講する機会を今後も増やしていく。月に数回のみの勤務スタッフにも研修参加の意欲が高まるよう努めていく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・職員がいつも見れる場所に保管されているため共有できていると考える。	・全員が確認することができる手立てを考えていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・日々の療育や面談時の内容を参考に作成している。	・今後も面談やご利用時の様子を参考に適切に放課後等デイサービス計画を作成してく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1		・常勤のみでの話はいになってしまうことが多い。今後は非常勤の意見も取り入れていけるよう改善していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7	1	・職員がいつも見れる場所に支援計画のファイルが個別して置かれているが、それを把握しているかは不明である。	・共有が出来るような手立てを考えていく必要がある。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	・地域支援・地域連携の部分が不明。 ・地域連携は今後の課題だと感じている。	・地域連携の方法など、行政に相談するなど対応を行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・活動会議にて月の活動を決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・時期によって集団活動の創意工夫している季節を意識し、活動内容が偏らないよう留意している。 ・季節を取り入れたり、常に目新しく楽しいものを提供していてよいと思う。	・提案するスタッフが偏らないよう、全体で考え、取り組んでいくように改善していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・活動自体は集団であるが、落ち着くために個別対応なども行っている。	・集団活動がメインとなるが、その中で個別に対応を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	・参加出来ていない。 ・早下校や勤務時間が異なる場面では難しいこともある。	・全体で行うことが難しい状況であるが、全体で打ち合わせが出来るよう改善していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5	3	・終了時には退勤しているため参加出来ていない。 ・退勤時間が異なるため難しい場面が多い。	・振り返りミーティングの時間を取ることが難しい。どのように行っていくか検討の必要あり。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・ほとんどの場合、共有できていると思う。 ・学校公開や見学会に積極的に参加している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	・そのような場面がまだない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・おそらく無いと思っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時以外にも気になること等があれば、ご連絡くださいなどで伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		
保護者	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	5		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
への説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・トラブルがあったら全職員に周知、問題解決するためにはどうするべきかを考えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・毎月のお便りがある。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・送迎時に外で名前を呼んだりも気をつけていく必要がある。	・様々な場面で特に留意していかなければならないと感じている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	・訓練をもう少し多く行なった方が良いと思います。	・訓練の実施は定められている範囲については実施している。マニュアルについてもパブリックの場所に保管、いつでも閲覧できるようにしているのでスタッフが意識していくことも求められる。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	・避難訓練等をもう少し多く行なった方が良い。	・計画は作成し、全員に目を通してもらっている。閲覧した方には印鑑を押してもらい、全員の閲覧を確認している。訓練についても法令に沿って行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	・全てでは無い。きちんと知るべきである。	・個別支援計画にも記載して把握している。確認できていないスタッフは支援計画の閲覧が不十分だと感じる。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	・安全管理が充分ではない。	・安全面に考慮して支援を行っているが、防ぐことができない事故もある。今後も安全面に考慮する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・ヒヤリハット記入していない。 ・ヒヤリハットの報告書にて充分話し合う。	・ヒヤリハットの活用が不十分。今後はさらに活用し、未然に事故を防いでいく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		